

# HOSP!

## 持続可能なコミュニティを本気で作る大人たちの会

### 【設立趣旨】

2008年、私たちは100年に一度とも言われる経済危機に遭遇しました。危機を起こした直接の理由は金融商品の行き過ぎでしたが、その原因は実体経済の数倍に膨れ上がってしまった金融経済にあります。現在の資本主義は、お金が第一の価値であり、人間をお金に換算してしまっています。その結果、私たちは人と人との信頼関係などの大切なものを失いつつあります。いまこそ、新しい経済と社会の仕組みを作るべく、社会に責任ある私たち大人は、本気で立ち上がり行動する必要があります。

民主主義と市場経済は人類が生み出した優れた仕組みです。今回の危機でもその仕組みをやめる必要はありません。課題があるのは現代の資本主義です。

資本主義は、人間について狭い見方をとっています。すなわち、人間は最大の利益を追求する一次元的な存在であるという見方です。市場経済のルールもその原則で作られています。その結果が今回の危機でしょう。しかし、私たちには「できれば周囲の環境をよくしたい」、「できることなら仲間であるほかの人間の生活を良くしたい」という願望があります。これは自然な願望であり、本能と呼んでもいいものです。

この「自然な願望」が発揮されるとき、人と人、人と自然、人と社会との関係性が豊かになります。私たちは、この「自然な願望」、「豊かな関係性」、および自然資産を賢く活用したり社会を賢く運営したりする「知恵」、のような目に見えない資産を重視します。私たちは、この目に見えない資産を「信頼資本」と名づけ、それが流通し、蓄積・活用する社会の実現を目指すことにしました。

そのために、荒れた森林など使われなくなった自然資産や、感動・仲間意識といった人間関係資産のような、資本主義経済では無価値と見なされている資産の価値を、それぞれの地域単位で創出することを進めます。そのような資産の価値創出の事業を地域で起こし、地域でできるだけ自給したうえで、創出した価値の余剰分を他地域に流通させ、地域で足りないものを補うといった持続可能な地域生活様式を築いていくことにより、新しい社会を構築できるのではないかと考えています。このような地域が増えることにより、市場経済の仕組みも大きく変わると考えています。

アマタ株式会社が進めている「森林ノ牧場」という事業がその先駆例です。この事業は、荒れた森林に牛を放牧し、牛が下草や倒木を蹄でならすことで森林を整え、人による管理を容易にし、山菜やきのこなどを栽培できる豊かさを取り戻すものです。同時に、この牛たちはとてもおいしい健康な乳を出します。その牛乳は、市価の7倍の値段で販売されていますが、発売以来完売が続いています。この事実は、「できればきれいな森林を次世代に残したい」という、「自然な願望」や、牛舎につながれていない健康な牛の、普通では飲めないおいしさの牛乳を味わうという「感動」が、事業にきちんと組み込まれていることを意味しています。



森林ノ牛乳

森林ノ牧場第一号の京丹後では、バイオガス発電所があり、その副産物の液肥を畑に戻すなどの自給につながる地域循環の構築が始まっています。第二号の那須では、森林ノ牧場に70世帯の集合住宅を併設し、その場所で雑穀を育て商品化するなどの事業が(社)コミュニティネットワーク協会との連携で進んでいます。地域をこのような事業で持続可能な様式で自立させることが、当面の私たちの目的です。そのような地域が増えることにより、あたかもオセロのコマが次々ひっくり返るように、新しい社会へのシフトは加速するでしょう。

私たちは、この新しい地域作り、社会作りを進めるために、「HOSP！～持続可能なコミュニティを本気で作る大人たちの会」を設立します。HOSP！は Human Oriented Sustainable society Projects であり、人間の信頼に基づいて持続可能な社会を作ることを目的とします。Hospitality の意味もあります。「もてなし」のあふれる社会を作りたいのです。

すでに行動し、成果をあげつつある仲間が多くいます。その仲間うちでは、HOSP！は「本気になれば(H)、大人も(O)、凄いぞ(S)、プロジェクト(P)」の略でもあります。これが、「本気で行動する大人たちの会」という名前にもつながっています。私たち本気の仲間はこのような社会作りができる信じ、壮大な地域作り、社会作りの実験に着手しました。このような活動に関心があり、関わってみたいという方々のご参加、お待ちしております。

## **【事業】**

### (1) 相互活動触発事業

目的とする社会づくりに資する事業や活動を行なっている事業者・団体との意見交換会を、できるだけ事業・活動の現場で行ないます。「みんなで学び続ける」活動である以上に、触発しあって行動をより活発にしたり、新しい行動を生み出す機会を作ることを目的としています。

### (2) 本気で活動する仲間集め事業

すでに集まっている本気の大人たちが、「これは」と思う人や団体に対面でHOSP！について説明し、仲間になっていただく事業です。そのためのパンフレットがこの冊子です。初年度にもっとも注力する事業です。

### (3) 「場チカラ」を有効活用する事業

多くの仲間が集まれば社会的影響力が出てきます。めざす社会を作るためには、自分たちでできる事業だけでなく、社会の仕組みや法制度を変更する必要もでてくるでしょう。そのために集まった人・団体の「場チカラ」を有効に活用し、社会や政治への働きかけをしていきます。

### (4) セミナーの開催

HOSP！とそのプロジェクトについて随時セミナーを開催します。HOSP！事務局で企画する開催のほか、団体からの申し込みがあった場合や個人でも申し込みが数人集まれば開催します。

### (5) 研究会活動

持続可能なコミュニティ作りは、「壮大な実験に着手した」段階です。本格的に社会のパラダイムシフトを起こすには、それなりの理論構築が必要です。これについて、研究会を設けて研究します。

### (6) 地域プロジェクト・研究会活動支援

めざす地域作りに取り組む地域のプロジェクト・研究会活動の立ち上げを支援します。立ち上がったプロジェクト・研究会活動とは密な情報交換を行います。

### (7) 情報共有・広報活動

自主事業および、ネットワークのメンバーの事業・活動について取材し、ネットワーク参加者にはメーリングリスト等で情報共有を行ないます。また、会員でなくても、関心ある方々には、メールマガジンなどで情報提供します。ホームページを開設、適時更新するとともに、年に一度以上は情報の共有と交流のためのシンポジウムを行なうこととします。

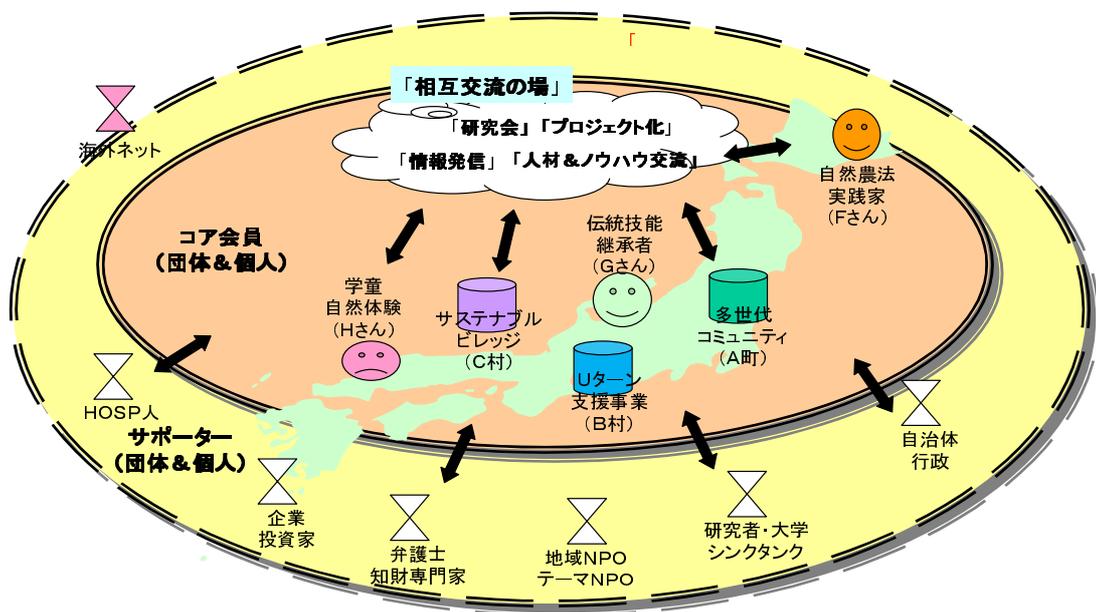
## 【組織】

当面任意団体とし、目的に賛同し「ネットワーク参加宣言」を提出した人・団体によって構成します。互選により数名の運営委員を設けて運営します。代表は設けず、事務局長のみを設けます。（ネットワーク参加宣言は、HOSP！で何がしたいか、何ができるかなどを仲間に宣言するもので、会員に共有されます。書式は自由です。）

## 「HOSP！のイメージ」

コア会員：メーリングリスト等で密な連携

サポーター：メールマガジンで情報共有



## 【参加熱烈歓迎！】

みなさま、本気になって、HOSP！に参加なさいませんか？ 参加希望の方からのご連絡、お待ちしております。会費は一口千円で、個人2口以上、NPO等非営利団体5口以上、営利団体10口以上となっています。会員にすぐならないが、情報がほしいという方にはメールマガジンをお届けいたしますのでご連絡ください。

### ■■■■ 連絡先 ■■■■

**HOSP！（持続可能なコミュニティを本気で作る大人たちの会）**

E-mail: [hosp2009@gmail.com](mailto:hosp2009@gmail.com) (事務局長 鎌木)

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座 4-14-11 七十七ビル 3F

社団法人コミュニティネットワーク協会 内

電話：03-3547-3882（担当小泉）FAX：03-3547-3883

HP：[http://hyocom.jp/community.php?bbs\\_id=902](http://hyocom.jp/community.php?bbs_id=902)